



2017年2月23日

各 位

会社名 LINE 株式会社
代表者名 代表取締役社長 出澤 剛
(コード：3938、東証第一部)
問合せ先 投資開発・IR 室
Tel 03-6233-5050

(訂正)「個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

2017年1月27日に公表しました「個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ」について訂正がありましたので下記のとおりお知らせします。なお、数値データについては、訂正はありません。

記

1. 訂正の理由

当社は、会社法に基づく2016年12月期の計算書類の作成過程において、繰延税金資産の計上額を精査したところ、将来減算一時差異の計算過程に誤りがあることが判明しました。そのため、2017年1月27日に公表しました「個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ」にて記載した当期純利益の金額及び関連する箇所の訂正を行うものであります。

2. 訂正箇所

訂正箇所については、 （下線）を付して表示しております。訂正後および訂正前の全文を記載しております。

以 上

各位

会社名 LINE 株式会社

代表者名 代表取締役社長 出澤 剛

(コード：3938、東証第一部)

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成28年12月期の個別業績（日本基準）につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成28年12月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (△は損失)	1株当たり 当期純利益 (△は損失)
	千円	千円	千円	千円	円 銭
前回実績 (A)	88,441,794	3,695,263	3,472,727	△16,740,537	△95.66
今回実績 (B)	107,032,422	8,661,509	9,806,178	<u>2,525,394</u>	<u>13.01</u>
増減額 (B - A)	18,590,628	4,966,245	6,333,451	<u>19,265,931</u>	
増減率 (%)	21.0%	134.4%	182.4%	—	

注 本開示は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、本開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

2. 差異の理由

LINE Ads Platform によるタイムラインやLINE NEWS等のパフォーマンス型広告の売上高が大きく成長した結果、売上高、営業利益、経常利益は前期実績を大幅に上回る結果となりました。また、当期純利益については、前期に特別損失として計上した関係会社株式評価損などが当期においては縮小したこと、当期に土地の売却益を特別利益として計上したことなどから、利益へと反転する結果となりました。

以上

各 位

会 社 名 LINE 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 出澤 剛
 (コード：3938、東証第一部)

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成28年12月期の個別業績(日本基準)につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成28年12月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益 (△は損失)	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (△は損失)
	千円	千円	千円	千円	円 銭
前回実績 (A)	88,441,794	3,695,263	3,472,727	△16,740,537	△95.66
今回実績 (B)	107,032,422	8,661,509	9,806,178	<u>3,301,643</u>	<u>17.01</u>
増 減 額 (B - A)	18,590,628	4,966,245	6,333,451	<u>20,042,181</u>	
増 減 率 (%)	21.0%	134.4%	182.4%	—	

注 本開示は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、本開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

2. 差異の理由

LINE Ads PlatformによるタイムラインやLINE NEWS等のパフォーマンス型広告の売上高が大きく成長した結果、売上高、営業利益、経常利益は前期実績を大幅に上回る結果となりました。また、当期純利益については、前期に特別損失として計上した関係会社株式評価損などが当期においては縮小したこと、当期に土地の売却益を特別利益として計上したことなどから、利益へと反転する結果となりました。

以 上